



えともっ子



令和7年 2月18日
2月号

松江市立恵曇小学校

校長 濱岡 宏行

TEL 82-0065 FAX 82-0931 E-mail:etomo-e@city.matsue.ed.jp

立春も過ぎ、暦の上では春ですが、気温の寒暖差もあり体調管理には気を付けたい日々が続きます。

月日が経つのは早いものでもう2月下旬にさしかかります。今年度も残すところあと1か月あまりとなりました。どの学年も1年間のまとめに入っています。特に6年生は卒業式に向けて学習のまとめだけでなく、小学校生活6年間の振り返り、そして中学校に向けての心の準備など忙しい毎日を送っています。21日（金）には6年生を送る会を実施いたします。これは、今年1年間、学校を引っ張ってきたリーダーに対しての感謝の会です。6年生を送る会はどなたにも公開にしています（観覧席は体育館の2階になります）。9時40分から開始予定ですので、希望される方は直接体育館へお越しください。寒さが予想されるので防寒着のご用意をお忘れなく・・・。

保護者や地域の皆様には引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

今年度 最後の授業公開日

2月7日（金）は、今年度最後の授業公開日でした。数年前より、体育館集合型の『学習発表会』を止めて、学年別に表現型の学習発表にしています。学習発表についても、低学年、中学年、高学年でそれぞれ違う時間設定にして、保護者の皆様に公開しております。

本校は2月にこの表現を伴う授業公開日を設定しています。この表現をとまなう授業公開日を設定している理由をお話します。これは、**今の子どもたちに求められている能力**だからです。自分を自分で表現する力がこれから求められます。同日、本校では学校運営協議会を開催しています。学校運営協議会の委員の皆さんにもこの授業を公開して参観してもらっています。学校運営協議会の会議中に以下のような意見がありました。

「今の子どもたちは、大勢の中で発表してもものおじしない力がある」

「今年から高校入試が変わり、自己推薦型の入試を受ける子どもが中学では増えている」

「自己推薦では、プレゼンテーション能力が問われる

中には、自分で模型を作って来てプレゼンしないといけない
入試もある」

「そういう意味で、一人ひとりが自己表現できる力をつけていく
必要がある」

「小さい子どもは単語でしか会話がないので、もっと会話力、
いわばコミュニケーション能力をつけていかなければいけない
のではないかな」

今回の学校運営協議委員のみなさんから本校のこの取り組みを理解していただいたと同時に非常に大きな示唆をいただいたと思っています。私たち学校も家庭も地域もそのような視点で子どもたちを育てていくことを大切にしたいと思いました。



ボイス！ボイス！ボイス！

読んで楽しい学級だよりの話題を提供します。

★1年★～2月の授業公開後の子どもたちの感想

- ぼくは、1人1はっぴょうでたしざんのけいさんカードをしました。ぼくのもくひょうは、20びょうでした、でも、けっかは27びょうかかりました。まよっていなかったら、クリアできたのになとおもいました。ぼくは、2年生になっても、しんきろくをこうしんしたいです。（〇〇さん）
- ぼくは、はじめにおかあさんに「お手玉をがんばるから見ててね」といいました。おわったら、「かっこよかったね」とほめられました。とてもうれしかったです。（〇さん）
- わたしは、おとうさんがよていよりくるのがおそくて、しんぱいでした。チロのはっぴょうのときにきてくれてよかったとおもいました。キラキラぼしは、しっぱいせずにふけました。（〇〇さん）

★3・4年★～書き初め会から

地域講師の先生にお越しいただき、書き初め会をしました。冬休みにも宿題で出していたので、お家でも教えていただいた様子を聞きました。ありがとうございます。2学期、冬休み、そして今回。3回目の書き初めだったので、みんな、用具の置き方はばっちり！！と思っていたら、先生に「墨池の置き方が違う人がいますね・・・。」と最初に教えていただきました。その後も大筆の持ち方、字のバランス、運筆の仕方など、先生方にとっても丁寧に教えていただきながら、3枚の清書を書きました。みんな、60分間、本当に集中してがんばっていました！

翌日、これまで書いたすべての書き初めの作品の中から、自分の1位と2位の作品を選びました。それぞれ、「中心が通っているか」、「字のバランスはどうか」と自分でポイントを決めて選んでいて、感心しました。1位に選んだ作品は、書き初め展に出品します。



書き初め会の最後に先生方が「みんなが一生懸命に集中して書いていて、素晴らしかったです。」とほめてくださっていました。また、終わりの会では、ほとんどの人が感想発表で手を上げていたことにも感心しておられました。

★5・6年★～薬物乱用防止教室から

薬剤師の先生にお越しいただき薬物乱用教室をしていただきました。こどもたちの感想にもあるように、ポイントは次の2つでした。1つ目は法に触れる薬物との向き合い方、2つ目はドラッグストアで購入ができて使用している薬との向き合い方です。正しい知識をもち、容量や飲む時間等を守り適切に使用していけるように学習をしています。



薬物は危険と知っていたけれど、勉強する前は何が危険か分かりませんでした。幻覚が見えて相手を傷つけてしまうことや、たった1回でも繰り返したくなることが分かりました。これからは、人に悪いことで誘われても断りたいです。（Dさん）

スーパーで売られている薬も、飲み過ぎるとよくないと分かりました。飲む回数や量は十分気をつけるポイントなどと思いました。（Eさん）